

インフルエンザワクチンの接種にあたっての説明文

インフルエンザは、通常の「かぜ」に比べて全身症状が強いのが特徴です。また、気管支炎や肺炎などの併発しやすく、重症化することが多いのもインフルエンザの特徴です。

インフルエンザワクチンは、重症化の予防に効果が認められていますので、積極的なワクチン接種をおすすめします。

【接種を受けるとき】

接種に当たり、健康状態をよく把握する必要があります。予診票は正確にご記入ください。

もし、普段と変わったことがあった場合には、問診・診察の際に医師にご相談ください。

(当日の体温が普段より高めである場合など)

【接種を受けることが適当ではない方】

次のいずれかに該当する場合には、接種を避けてください。

- 1 明らかに発熱のある方（体温が 37.5℃以上の方）
- 2 重篤な急性疾患にかかっている方
- 3 以前にインフルエンザワクチンで急性の全身アレルギー反応をおこした方
- 4 上記のほか、予防接種を受けることが不相当と医師が判断した方

【接種の判断を行うに際し、注意を必要とする方】

健康状態および体質を考慮して、次のいずれかに該当する場合は、注意して接種を受ける必要があります。

- 1 心臓血管系疾患・腎臓疾患・肝臓疾患・血液疾患等の基礎疾患を有する方
- 2 過去にけいれんを起こしたことのある方
- 3 過去に免疫不全と診断された方及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- 4 間質性肺炎、気管支喘息等の呼吸器系疾患を有する方
- 5 本剤の成分又は鶏卵・鶏肉、その他鶏由来のものに対しアレルギーを起こす恐れのある方
- 6 接種当日の体温が通常より高い場合は、医師にご相談ください

【ワクチン副反応と接種後の注意事項】

接種をした部位が赤くなったり、腫れたり、痛んだり、軽い発熱などがおきることがあります。

もし、異常反応や体調の変化、さらに高熱・けいれん等の症状があらわれた場合には、速やかに医師の診察を受けてください。接種後は、入浴しても差し支えありませんが、接種部位は強く擦らず、清潔に保ってください。また、接種当日は激しい運動や大量の飲酒を避けてください。

【お問い合わせ】

長岡市福祉保健部保健医療課感染症対策室でもご相談いただけます。

長岡市幸町2丁目1番1号 電話 0258-39-2383（※平日のみ 8時30分～17時15分まで）

【予防接種健康被害救済制度】

万が一、ワクチンを適正に使用したにもかかわらず、その副反応により入院治療が必要になるほど重篤な健康被害が生じた場合は救済手続を行う制度があり、下記が問い合わせ先になります。

救済制度相談窓口 電話 0120-149-931（※平日のみ 9時から17時まで）